



長浜 音一 議員

### コロナワクチン接種は順調か

**問** ワクチン接種の現況と課題、今後のワクチン接種スケジュールについて伺う。

**答（健康推進部長）** 高齢者へのワクチン接種は、希望者全員の予約枠を確保した。予約について、インターネットが分かりづらい、コールセンターが繋がらない等の多くの意見を課題と捉え、予約方法を検討する。今後は、基礎疾患のある方、64歳

※フィージビリティスタディー…事業の実行・実現可能性を検証すること

以下の方へと接種を進める。

### 「備えあれば憂いなし」危機管理体制の現状は

**問** 危機管理体制の強化は、平時から危機管理意識を高め、柔軟な組織と人材育成を進めることにある。これまでの災害から得た教訓と課題、それを踏まえた組織の取り組みについて伺う。

**答（総務部長兼危機管理監）** 市ではこれまでの災害の教訓から①情報発信の強化②避難所の見直しおよび機能向上③避難場所の安全確保④災害対策本部体制の強化の課題改善に取り組んでいる。また、平時からの職員研修として、日常の業務を通じて職員のスキルを伸ばすOJTの推進マニュアルを策定している。



### フィージビリティスタディー<sup>(※)</sup>は機能しているか

**問** ①主な政策・事業評価プロセスにおける教訓と課題②フィージビリティスタディーの運用と今後予定される事業への取り組みを伺う。

**答（企画政策部長）** ①事業評価の指標として、活動指標や成果指標を定め、それらが事業成果を凶る物差しとして適切かどうか点検と見直しを行っている。②行政の政策決定ツールとしてなじむものなのか研究したい。



秋庭 繁 議員

### 新型コロナウイルス感染防止とワクチン接種について

**問** 感染防止対策は一定の成果と思うが、感染拡大の中でPCR検査数の把握ができていない。県から感染拡大市町村に指定され、県知事が直接古河市に言及し、PCR検査を駅東口で実施したが、市は適切に対処したのか。また、今後のワクチン接種券の配布方法や電話予約方法の見直しの検討はできるか。

**答（市長）** PCR検査は、県が

希望者に実施した。検査による感染防止効果は不明だが、市民への注意喚起で陽性者は減少していると考えている。接種券の配布は、国でも状況が変化しており、有効な方法で実施したい。

**答（健康推進部長）** 感染防止対策は、消毒液の配布、マスクの提供、医療機関への財政支援、市の施設利用制限等である。

### 古河市自校給食のセンターへの統合計画について

**問** 自校給食をセンターへ統合するに当たり、「調理員が不足し安全・安定供給に不安」とあるが、定員に対する実働と休暇取得状況、労災事故について伺う。また、民間委託での調理員数は何名か。民間委託費用は大幅に高くなるが、市長の見解を伺う。

**答（市長）** 労働環境の改善をしたが、慢性的な調理員不足も、事故の要因の一つになっていたと思われる。安定的な給食の配給のため、民間委託としたい。

**答（教育部長）** 調理員は定員36名に対し32名である。休暇は、業務が空いた時、給食センターの応援や自校方式の中でやりくりし対応していた。労災事故は事実である。民間委託の調理員数は46名を予定している。



廃止予定の自校調理室